大学･高専機能強化支援事業（支援２：高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援）
【大学　一般枠、特例枠】実施状況報告書

選定年度	令和7年度	学校コード	F113110102755	改組内容	研究科等の設置・増員（一般枠）
大学名	お茶の水女子大学	設置区分	国立	事業計画名	お茶の水女子大学・超先端情報科学を担う女性人材の育成
学校種	大学	都道府県	東京		

1.年度別の計画及び取組状況

年度別の事業計画（上欄：研究科等の設置等及びその準備（設置認可申請等）、下欄：教育環境の整備（施設整備、教員採用等）、教育活動の充実等の取組）と取組状況及び自己評価を記載してください。
当初計画から変更又は追加した取組は赤字で記載し、計画変更の承認を受けた計画については、末尾に承認日を赤字で記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応	
令和7年度	博士後期課程・理学専攻・情報科学領域の令和8年度からの定員を学則変更して現在の７名から5名増の12名とする。	博士後期課程・理学専攻・情報科学領域の令和8年度からの定員を７名から5名増員し12名とし、令和8年度入試を実施した。	令和7年度自己評価	【３】計画を十分に実施している。
	①4月　大学院オープンキャンパスにおける広報活動 ②7月～ カリキュラム改正 ③7月～ 大学院学則改正 ④10月～特任教員（任期付き助教または講師） 求人公募実施（R8.4.1からR13.3.31まで継続雇用予定） ⑤7月～ 特任アソシエイトフェロー公募実施、採用（（~~R12~~９.3.31まで継続雇用）（R8.2.5計画変更承認） ⑥7月～ 事務補佐員、アカデミック・アシスタント公募実施・採用 ~~（R12.3.31まで継続雇用）~~（R8.2.5計画変更承認） ⑦7月～ サーバー室改修工事、~~着工~~、人間文化研究科棟1階スイッチ新規設置のための入札準備。（R8.2.5計画変更承認） ⑧7月～ 特任教員研究室改修工事準備、着工 ⑨9月　博士後期課程9月入試 ⑩10月～クロスアポイントメント教員契約準備。（~~1月から~~R8.4月から契約開始。以後、年度ごと契約）~~（R16まで継続依頼）~~（R8.2.5計画変更承認） ⑪10月～R8年度以降の事業計画の立案 ⑫3月　博士後期課程3月入試	①4月　2025年4月19日（土）に開催した 大学院オープンキャンパスにて本事業と博士後期課程情報科学領域の定員増について広報活動を行った。 ②7月～ カリキュラム改正を行い、令和8年度から開講する授業「DX実践Ⅰ～Ⅳ」「情報科学実践講義」「研究インターンシップ実習」「国際学会参加実習」を新設した。 ③7月～ 博士後期課程情報科学領域の定員を12名とする大学院学則の改正を行った（令和8年4月1日施行）。 ④10月～特任教員 の公募を行い6名の応募があった。書類選考、面接の結果、R8.4.1から特任講師1名を採用した。 ⑤7月～ 特任アソシエイトフェロー公募を実施し、一度目は応募がなかったが、再公募で3名の応募があり書類選考と面接の結果、令和8年１月から1名を採用した。採用者は、⑩に記載のクロスアポイントメント契約予定のIBM東京基礎研究所での勤務経験とあわせて大学での講師の経験があったため新設授業「DX実践科目」の支援を行うこととなった。 ⑥7月～ 事務補佐員、アカデミック・アシスタント公募を実施し、アカデミック・アシスタントは10月から、事務補佐員は12月からそれぞれ1名を雇用した。 ⑦7月～ 人間文化研究科棟3階のサーバー室改修工事を行い、3月に完了した。それにともない必要となる人間文化研究科棟1階スイッチ新規設置のための入札を行った。納品は翌年度6月の予定である。 ⑧7月～ ④で採用した特任教員のための研究室（理学部3号館2階）の改修工事を行い3月に完了した。 ⑨9月　2025年9月8日、博士後期課程9月入試を実施した。博士後期課程情報科学領域は9名の志願者があり全員合格した。 うち5名は令和7年度10月入学を希望した。 ⑩10月～IBM東京基礎研究所と検討を重ねた結果、所属社員と年平均エフォート率20%程度で本学の授業を担当するクロスアポイントメント契約をした。R8.4月から授業「DX実践」を開始する。 ⑪10月～R8年度以降の事業計画の立案を行った。 ⑫3月　2026年3月3日～4日、博士後期課程3月入試を実施した。志願者2名とも合格した。		
令和8年度			令和8年度自己評価	リストから選択してください。
	①4月　大学院オープンキャンパスにおける広報活動 ②4月～ DX実践科目実施 ③4月～ 研究インターンシップ実習、国際学会参加実習 ④4月～ サーバー購入(入札)（R12まで使用） ~~⑤~~4月～ ~~サーバーを設置する~~人間文化研究科棟~~スイッチ~~の入札、納品(2026.2.5計画変更承認) ⑥4月～ クラウドレンタルサーバー契約（入札）（R16まで契約）(2026.2.5計画変更承認) ⑦4月～ 理学部3号館アクセスポイント更新 ⑧4月～ ~~R7年度に公募した~~特任教員を雇用開始(2026.2.5計画変更承認) ⑨4月～ R7年度に採用した特任アソシエイトフェローを継続雇用、~~令和9年度からの採用のための公募開始~~(R8.2.5計画変更承認) ⑩4月～ ~~R７年に採用した~~事務補佐員、アカデミック・アシスタントを~~継続~~雇用(R8.2.5計画変更承認) ⑪4月～ ~~R７年からの~~クロスアポイントメント教員~~を継続~~契約。(R8.2.5計画変更承認) ⑫4月～ R8年度購入したたサーバーを利用した教育・研究 ⑬4月～ R8年に契約したレンタルサーバーを利用した教育・研究 ⑭9月　博士後期課程9月入試 ⑮10月～R9年度以降の事業計画の立案 ⑯10月～招待講演等の科目実施 ⑰３月　博士後期課程3月入試			
令和9年度			令和9年度自己評価	リストから選択してください。
	①4月　大学院オープンキャンパスにおける広報活動 ②4月～ DX実践科目実施 ③4月～ 研究インターンシップ実習、国際学会参加実習 ④4月～ ~~R７年度に公募した~~R8年度に採用した特任教員を継続雇用(R8.2.5計画変更承認) ⑤4月～ ~~R７年に採用した~~R9年度に採用した特任アソシエイトフェローの~~継続雇用開始~~(R8.2.5計画変更承認) ⑥4月～ ~~R７年に採用した~~事務補佐員、アカデミック・アシスタントを~~継続~~雇用(R8.2.5計画変更承認) ⑦4月～ ~~R７年からの~~クロスアポイントメント教員~~継続~~契約(R8.2.5計画変更承認) ⑧4月～ R8年度に購入したたサーバーを利用した教育・研究 ⑨4月～ R8年度に契約したレンタルサーバーを利用した教育・研究 ⑩9月　博士後期課程9月入試 ⑪10月～R10年度以降の事業計画の立案 ⑫10月～招待講演等の科目実施 ⑬3月　博士後期課程3月入試			
令和10年度			令和10年度自己評価	リストから選択してください。
	①4月　大学院オープンキャンパスにおける広報活動 ②4月～ DX実践科目実施 ③4月～ 研究インターンシップ実習、国際学会参加実習 ④4月～ 院生室改修工事準備、着工 ⑤4月～~~R７年度に公募した~~R8年度に採用した特任教員を継続雇用(R8.2.5計画変更承認) ⑥4月～ ~~R７年に採用した~~R9年度に採用した特任アソシエイトフェローを継続雇用(R8.2.5計画変更承認) ⑦4月～ ~~R７年に採用した~~事務補佐員、アカデミック・アシスタントを~~継続~~雇用(R8.2.5計画変更承認) ⑧4月～ ~~R７年からの~~クロスアポイントメント教員~~を継続~~契約(R8.2.5計画変更承認) ⑨4月～ R8年度に購入したたサーバーを利用した教育・研究 ⑩4月～ R8年度に契約したレンタルサーバーを利用した教育・研究 ⑪9月　博士後期課程9月入試 ⑫10月～R11年度以降の事業計画の立案 ⑬10月～招待講演等の科目実施 ⑭3月　博士後期課程3月入試			
令和11年度			令和11年度自己評価	リストから選択してください。
	①4月　大学院オープンキャンパスにおける広報活動 ②4月～ DX実践科目実施 ③4月～ 研究インターンシップ実習、国際学会参加実習 ④4月～ ~~R７年度に公募した~~R8年度に採用した特任教員を継続雇用(R8.2.5計画変更承認) ⑤4月～ ~~R７年に採用した~~R9年度に採用した特任アソシエイトフェローを継続雇用(R8.2.5計画変更承認) ⑥4月～ ~~R７年に採用した~~事務補佐員、アカデミック・アシスタントを~~継続~~雇用(R8.2.5計画変更承認) ⑦4月～ ~~R７年からの~~クロスアポイントメント教員~~を継続~~契約(R8.2.5計画変更承認) ⑧4月～ R8年度に購入したたサーバーを利用した教育・研究 ⑨4月～ R8年度に契約したレンタルサーバーを利用した教育・研究 ~~⑩~~4月～ ~~特任アソシエイトフェロー公募実施、採用(R17.3.31まで継続雇用)~~(R8.2.5計画変更承認) ~~⑪~~7月～ ~~事務補佐員、アカデミック・アシスタント公募実施、採用　(R17.3.31まで継続雇用)~~(R8.2.5計画変更承認) ⑩9月　博士後期課程9月入試 ⑪10月～ R12年度以降の事業計画の立案 ⑫10月～ 招待講演等の科目実施 ⑬3月～ 博士後期課程3月入試			
令和12年度			令和12年度自己評価	リストから選択してください。
	①4月　大学院オープンキャンパスにおける広報活動 ②4月～ DX実践科目実施 ③4月～ 研究インターンシップ実習、国際学会参加実習 ④4月～ ~~R７年度に公募した~~R8年度に採用した特任教員を継続雇用(R8.2.5計画変更承認) ⑤4月～ ~~R11年度に公募した~~R9年度に採用した特任アソシエイトフェローを継続雇用~~雇用開始~~(R8.2.5計画変更承認) ⑥4月～ ~~R11年度に公募した~~事務補佐員、アカデミック・アシスタントを雇用~~開始~~(R8.2.5計画変更承認) ⑦4月～ ~~R７年からの~~クロスアポイントメント教員~~を継続~~契約(R8.2.5計画変更承認) ⑧4月～ 特任教員（任期付き助教または講師）求人公募実施　（R16年度まで継続雇用予定） ⑨4月～ R8年度に購入したたサーバーを利用した教育・研究 ⑩4月～ R8年度にに契約したレンタルサーバーを利用した教育・研究 ⑪9月　博士後期課程9月入試 ⑫10月～R13年度以降の事業計画の立案 ⑬10月～招待講演等の科目実施 ⑭3月　博士後期課程3月入試			
令和13年度			令和13年度自己評価	リストから選択してください。
	①4月　大学院オープンキャンパスにおける広報活動 ②4月～ DX実践科目実施 ③4月～ 研究インターンシップ実習、国際学会参加実習 ④4月～ サーバー更新(入札) ⑤4月～ ~~R12年度に公募した~~R13年度に採用した特任教員を雇用開始(R8.2.5計画変更承認) ⑥4月～ ~~R11年度に公募した~~R９年度に採用した特任アソシエイトフェローを継続雇用(R8.2.5計画変更承認) ⑦4月～ ~~R11年度に公募した~~事務補佐員、アカデミック・アシスタントを~~継続~~雇用(R8.2.5計画変更承認) ⑧4月～ ~~R７年からの~~クロスアポイントメント教員~~を継続~~契約(R8.2.5計画変更承認) ⑨4月～ R13年度に購入したたサーバーを利用した教育・研究 ⑩4月～ R8年度に契約したレンタルサーバーを利用した教育・研究 ⑪9月　博士後期課程9月入試 ⑫10月～ R14年度以降の事業計画の立案 ⑬10月～ 招待講演等の科目実施 ⑭3月　博士後期課程3月入試			
令和14年度			令和14年度自己評価	リストから選択してください。
	①4月　大学院オープンキャンパスにおける広報活動 ②4月～ DX実践科目実施 ③4月～ 研究インターンシップ実習、国際学会参加実習 ④4月～ ~~R12年度に公募した~~R13年度に採用した特任教員を継続雇用(R8.2.5計画変更承認) ⑤4月～ ~~R11度に公募した~~R9年度に採用した特任アソシエイトフェローを継続雇用(R8.2.5計画変更承認) ⑥4月～ ~~R11度に公募した~~事務補佐員、アカデミック・アシスタントを~~継続~~雇用(R8.2.5計画変更承認) ⑦4月～ ~~R７年からの~~クロスアポイントメント教員契約(R8.2.5計画変更承認) ⑧4月～ R13年度に購入したたサーバーを利用した教育・研究 ⑨4月～ R8年度に契約したレンタルサーバーを利用した教育・研究 ⑩9月　博士後期課程9月入試 ⑪10月～R15年度以降の事業計画の立案 ⑫10月～招待講演等の科目実施 ⑬3月　博士後期課程3月入試			
令和15年度			令和15年度自己評価	リストから選択してください。
	①4月　大学院オープンキャンパスにおける広報活動 ②4月～ DX実践科目実施 ③4月～ 研究インターンシップ実習、国際学会参加実習 ④4月～ ~~R12年度に公募した~~R１３年度に採用した特任教員を継続雇用(R8.2.5計画変更承認) ⑤4月～ ~~R11年に公募した~~R９年度に採用した特任アソシエイトフェローを継続雇用(R8.2.5計画変更承認) ⑥4月～ ~~R11年に公募した~~事務補佐員、アカデミック・アシスタントを~~継続~~雇用(R8.2.5計画変更承認) ⑦4月～ ~~R７年からの~~クロスアポイントメント教員を~~継続~~契約(R8.2.5計画変更承認) ⑧4月～ R13年度に購入したたサーバーを利用した教育・研究 ⑨4月～ R8年度に契約したレンタルサーバーを利用した教育・研究 ⑩9月　博士後期課程9月入試 ⑪10月～ R16年度の事業計画の立案 ⑫10月～ 招待講演等の科目実施 ⑬3月　博士後期課程3月入試			

			令和16年度自己評価	リストから選択してください。
令和16年度	①4月　大学院オープンキャンパスにおける広報活動 ②4月～ DX実践科目実施 ③4月～ 研究インターンシップ実習、国際学会参加実習 ④4月～ ~~R12年度に公募したR13年度~~に採用した特任教員を継続雇用(R8.2.5計画変更承認) ⑤4月～ ~~R11年度に公募したR9年度~~に採用した特任アソシエイトフェローを継続雇用(R8.2.5計画変更承認) ⑥4月～ ~~R11年度に公募した~~事務補佐員、アカデミック・アシスタントを~~継続~~雇用(R8.2.5計画変更承認) ⑦4月～ ~~R7年からR9~~クロスアポイントメント教員を~~継続~~契約(R8.2.5計画変更承認) ⑧4月～ R13年度に購入したたサーバーを利用した教育・研究 ⑨4月～ R8年度に契約したレンタルサーバーを利用した教育・研究 ⑩9月　博士後期課程9月入試 ⑪10月～ 招待講演等の科目実施 ⑫3月　博士後期課程3月入試			

フォローアップ対象年度	令和7年度	大学名	お茶の水女子大学

2.申請資格の確認

ⅰ） 学生募集停止中の大学
ⅱ） 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学
ⅲ） 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学
ⅳ） 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反」が付されている大学
ⅴ） 大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第２条第１号又は第２号のいずれかに該当する者が設置する大学

上記項目の申請資格の状況について、プルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目に該当していない、右の〇の項目に該当している）

申請資格の状況	ⅰ）	ⅱ）	ⅲ）	ⅳ）	ⅴ）
すべての項目に該当していない					

3.申請要件の取組状況

① 高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第８号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、学部を置かない大学や新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。

② 志願者数の状況や入学定員及び収容定員充足率等を踏まえた十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。

③ 産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。）

④ 特定成長分野のうちデジタル分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。

⑤ 計画の対象となる研究科・専攻等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。

⑥ 特定成長分野のうち情報系分野に係る研究科、専攻、コース等の設置・増員（研究科、専攻の定員の増員を伴わないものを含む。）、専攻に係る課程の変更（研究科、専攻、コース等の設置・増員及び専攻に係る課程の変更に伴う学部、学科、コース等の設置・増員（学部、学科の定員の増員を伴わないものを含む。）を含む。）（以下「研究科等の設置等」という。）による体制強化の計画であること。なお、コース等の設置・増員による体制強化の場合は、学則において、コース等の募集人員数を明記する計画であること。

⑦ 社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る研究科等の設置等の取組であること。

⑧ 教育の実績を有する既設の情報系分野に係る研究科、専攻（授与する学位が、学位種類分野変更基準に定める理学関係、工学関係又は農学関係のいずれかを学位の分野として含むものに限る。）を有する大学において、高度情報専門人材を育成する計画であること。（大学（特例枠）については、既設の情報系分野に係る学部、学科（授与する学位が、学位種類分野変更基準に定める理学関係、工学関係又は農学関係のいずれかを学位の分野として含むものに限る。）を有する大学とする。）

⑨ 機構による事業計画の選定があった日から２年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる研究科等の設置等を行う計画であること。

⑩ 計画の対象となる研究科等の設置等において、大学院修士課程（博士前期課程を含む。）15名以上又は大学院博士課程（博士後期課程を含む。）５名以上の入学定員の増員を行う計画であること。

⑪ 国立大学について、大学全体の収容定員の増員を伴う学部定員の増員を行う場合は、国立大学法人の第５期中期目標期間終了時までに他学部・他学科を中心に同規模の定員減を行う計画であること。

⑫ 教員の確保・配置状況等を踏まえた実現可能性の高い計画になっていること。

⑬ 文部科学省が実施する数理・データサイエンス・ＡＩ教育プログラム認定制度における「応用基礎レベル」について、大学又は計画の対象となる学部若しくは計画の対象となる研究科に関連する主な学部が認定を受けている、又は認定を受ける計画があること。なお、学部を置かない大学で、本認定制度の対象に該当しないものについては、本要件は適用されない。

⑭ 文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。

上記項目の①～⑫の申請要件について、　令和7年度　の取組の状況についてプルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目が要件を満たしている、右の〇の項目の要件を満たしていない）

申請要件の状況	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
すべての項目が要件を満たしている												

①～⑫の要件を満たしていない又は対象でない項目がある場合、左欄に該当する申請要件を選択し、右欄に課題（理由）とその対応について記載してください。

項目	課題（理由）

⑬,⑭については、現在の状況をプルダウンより選択してください。

申請要件⑬,⑭について	現在の状況
⑬文部科学省が実施する数理・データサイエンス・ＡＩ教育プログラム認定制度における「応用基礎レベル」について、大学又は計画の対象となる学部若しくは計画の対象となる研究科に関連する主な学部が認定を受けている、又は認定を受ける計画があること。なお、学部を置かない大学で、本認定制度の対象に該当しないものについては、本要件は適用されない。	認定を受けている
⑭文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。	認定を受けておらず申請する意向もない

4.審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和7年度　の取組実績及び申請時の計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

① 地域において自治体や企業等と連携した取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
上述した「DX実践科目」により、最先端技術に携わっている企業からのクロスアポイントメント教員が最新技術や業界のトレンドを盛り込んだ実践的な内容を学生へ伝える機会を設ける。近年の博士後期課程の学生の指向として、修了後は必ずしもアカデミアを志望するとは限らず、企業の研究所などにおいて研究活動を進めることを志望する者も多いことから、博士後期課程在学中に企業との接触を持つ機会へのニーズは高く、これに応える内容となっている。 また「研究インターンシップ実習」により、国内外の企業でのインターンシップ経験を積む機会を提供する。現状において大学院理学専攻情報科学領域の各研究室が企業と共同研究を行っていたり、上述の「理学総論」や「データサイエンス実践」で企業研究者等に講演してもらっていたりするなど、本領域として企業と接触する機会は多く存在する。そのようなコネクションを活かし、学生が企業においてインターンシップの経験を積む科目を設けることによって、博士後期課程の学生が在学中にアカデミックな世界のみならず実社会との関わりを体験できる計画となっている。	「DX実践科目」に関しては、カリキュラム改正により科目を新規開設すると同時に、この科目を担当するクロスアポイントメント教員の所属企業であるIBM東京基礎研究所と契約して、R8年度の開講に向けて準備を行った。令和8年1月から雇用した特任アソシエイトフェローも同じ企業の出身であり、本授業の支援を行うこととなった。 「研究インターンシップ実習」に関してもカリキュラム改正によって科目を新規開設し、R8年度の開講に向けて準備を行った。	

② 初等中等教育段階の学校との連携に関する取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
本申請は博士後期課程の定員増のみの申請であるが、初等中等教育との連携は学科で積極的に進められており、これを継続するとともに、「研究インターンシップ実習」の一環として博士後期課程の学生が初等中等教育に関与する機会を提供する。本学では附属高等学校との高大連携特別教育プログラムにおいて、高校生を直接情報科学科の教員が指導する「選択基礎」や、大学の科目を高校生が受講する「附属高校生向け公開授業」により、附属高校の生徒が大学の情報科学科の教員に指導を受ける機会が提供されてきた。令和６年度からは、それまでSSHの６女子高校のみが対象であった本学の「高大接続事業」にお茶の水女子大学附属高等学校も参加し、「課題研究支援」に11名の生徒が申請、うち6名が生徒の研究課題を指導できる教員が見つかり研究指導を受けた。またお茶の水女子大学附属高等学校はSSH指定校となっていることから、SSHの７女子高校を本学に集めて、夏には「SSH指定女子高校等研究交流会」、春には「SSH指定女子高校等課題研究発表会」を開催し、毎年100 名を超える高校生が参加している。夏には大学の研究室で実験や実習を経験し、春には自ら研究した課題についてのポスター発表を行い大学教員に助言・指導を受け、違う高校の生徒との交流を深めている。中でも情報科学科の教員は多くの希望者を受入れ、高校生に貴重な体験を提供している。 博士後期課程の学生が実社会における「研究インターンシップ実習」の一環として、これらの初等中等教育との連携で「課題研究支援」のアドバイザとして関わる機会を提供し、最先端分野の知見を実社会へ広める手法を模索させる。	カリキュラム改正によって「研究インターンシップ実習」を新規開設し、R8年度の開講に向けて準備を行った。初等中等教育との連携で、「課題研究支援」のアドバイザとして関わる機会を提供し、最先端分野の知見を実社会へ広める手法を模索させるための計画を検討した。	

③ 女子学生、社会人学生、留学生等の確保に向けた特色ある取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
【女子学生の確保】本学は女子大学であるため、本申請で述べられている内容は、全て女子学生の確保のための計画である。 【社会人学生の確保】理学部情報科学科は博士前期課程の学生を毎年40名近くコンスタントに輩出し続けており、博士前期課程の学生へのガイダンス等の実施により博士後期課程への進学を強く促す。社会人学生については、現状博士前期課程修了後、企業への就職と同時に博士後期課程へも進学する学生の数が多くその数は増加傾向にある。これは日本の企業において博士号への評価が上がってきたためであり、博士前期課程修了後すぐに博士後期課程に進学する形だけでなく、社会人としての進学も奨励し今後増加するように働きかける。また企業における社員の博士号取得のニーズがこれまでと比べ高まっており、社会人大学院生として博士号を取得した者による学位取得のメリットなどが語られるようになってきたため、企業で働いている数多くの博士前期課程修了生に働きかけて社会人大学院生として博士号の取得を奨励する計画である。学生には仕事と両立しながら修了できるよう個々の学生の状況に応じ休学や長期履修制度（2倍の年数在籍可能）を利用するようにすすめたり、経済的支援としてBOOSTやSPRING等の大型奨学金を充てるなどして対応していく計画である。 【留学生の確保】他大学においては博士課程の大半が留学生により占められている事が多い現状の中で、本学科はこれまで日本人の博士課程学生の割合が多い状態であった。そこで海外からの出願のハードルを下げるためのオンライン出願システムを整備し、海外での国際会議や研究機関滞在などでの機会を活かして優秀な外国人学生に働きかける事によって、留学生の確保を進めて行く。	社会人学生の確保については、博士前期課程の学生へのガイダンスを実施し、博士後期課程への進学を強く促した。また、企業で働いている博士前期課程修了生に働きかけて、社会人大学院生として博士号の取得を奨励する取り組みを実施した。長期履修制度や、経済的支援としてBOOSTやSPRING等の大型奨学金についても、案内するなど働きかけを強化した。その結果、R7年度に実施した博士後期課程の入試では、受験者総数11名のうち、本学の博士前期課程修了生10名（内訳：社会人６名、就職先が内定した博士前期課程修了予定者4名）が受験し合格した。 留学生の確保に関しては、R8年度実施の入試に向けて、オンライン出願システムの整備を行った。海外での国際会議や研究機関滞在などでの機会を活かして、優秀な外国人学生に働きかけるなど、留学生の確保に向けての取り組みも行った。	

④ 他の大学（外国大学を含む。）・高等専門学校等と連携した取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
本学情報科学科・コース・領域の多くの研究室において、外国大学を含む他大学との共同研究が盛んに行われている。これは一つの理由として本学情報科学科・コース・領域が大講座制である事により、各研究室は原則教員１人のみが学生を指導しているので、研究指導体制を拡充させるために、他の大学や公的研究所、企業の研究所などと連携を取って共同研究を行う形が定着しているからである。そのような背景を活かし、博士後期課程の学生が他の組織との連携に関わる機会を提供する。具体的には海外の大学・研究所などへの短期留学や、国内外の研究所・企業などにおけるインターンシップ派遣、また海外の大学などからの留学生を受け入れることにより、他の大学などとの連携を深めて行く。さらに本学ならではの組織として理系女性育成啓発研究所があり、ここと連携した女子学生の教育指導も進める。 ※理系女性育成啓発研究所 （初等中等教育段階における女子学生・生徒の理工系分野の選択促進及び理工系人材の育成にかかる活動を行っている	ボルドー大学（フランス）、ソルボンヌ大学（フランス）、およびドイツ人工知能研究センター（ドイツ）から短期で留学生を受け入れ本学の学生と研究活動をともにしたり、モントリオール工科大学（カナダ）、コンスタンツ大学（ドイツ）、ポンペウ・ファブラ大学（スペイン）、ザールラント大学（ドイツ）、トロント大学（カナダ）へ大学院生を短期留学させたりして、それぞれに連携を深めた。また、本学ならではの組織である理系女性育成啓発研究所との連携方法について検討を始めた。	

大学名	お茶の水女子大学	改組内容	研究科等の設置・増員（一般枠）	本事業対象となる研究科等の個数	1

１.本事業対象となる情報系組織の状況

１－１.博士課程

<内訳>

(1) 改組組織名：大学院人間文化創成科学研究科理学専攻情報科学領域

大区分	小区分	項目	単位	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度	R25年度
年度				R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度	R25年度
改組状況				選定	増員																	
事業計画に定める定員		入学定員	人	7	12	12	12	12	12	12	12	12	12									
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	7	12	12	12	12	12	12	12	12	12									
		入学者数	人	11	6																	
		女子学生数	人	11	6																	
		社会人学生数	人	8	4																	
		留学生数	人	1	0																	
	その他の学期	入学定員	人	0																		
		入学者数	人	5																		
		女子学生数	人	5																		
		社会人学生数	人	4																		
		留学生数	人	0																		
	入学者合計	入学定員(A)	人	7	12	12	12	12	12	12	12	12	12	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	16	6	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	16	6	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	12	4	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	1	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	2.29	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	収容定員等	収容定員(C)	人	21	26	31	36	36	36	36	36	36	36									
		在籍者数(D)	人	38	44																	
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.81	1.69	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	4		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		就職者数	人	2																		
		進学者数	人	0																		
		その他	人	0																		
		進路不明	人	2																		
	大学院博士課程	満期退学者数	人	1																		
		学位取得者数	人	3																		
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	17	29																	
		授業科目の単位数	単位	15	25																	

大学名	お茶の水女子大学	改組内容	研究科等の設置･増員（一般枠）

2.情報系組織の状況

２－１.博士課程

大区分	小区分	項目	単位	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度	R25年度
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	7	12																	
		入学者数	人	11	6																	
		女子学生数	人	11	6																	
		社会人学生数	人	8	4																	
		留学生数	人	1	0																	
	その他の学期	入学定員	人	0																		
		入学者数	人	5																		
		女子学生数	人	5																		
		社会人学生数	人	4																		
		留学生数	人	0																		
	入学者合計	入学定員(A)	人	7	12	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	16	6	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	16	6	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	12	4	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	1	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	2.29	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	収容定員等	収容定員(C)	人	21	26																	
		在籍者数(D)	人	38	44																	
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.81	1.69	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	4																		
		就職者数	人	2																		
		進学者数	人	0																		
		その他	人	0																		
		進路不明	人	2																		
	大学院博士課程	満期退学者数	人	1																		
		学位取得者数	人	3																		
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	17	29																	
		授業科目の単位数	単位	15	25																	

大学名	お茶の水女子大学	改組内容	研究科等の設置･増員（一般枠）

２.情報系組織の状況

２－２.修士課程

大区分	小区分	項目	単位	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度	R25年度
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	40	50																	
		入学者数	人	41	65																	
		女子学生数	人	41	65																	
		社会人学生数	人	0	1																	
		留学生数	人	0	6																	
	その他の学期	入学定員	人	0																		
		入学者数	人	1																		
		女子学生数	人	1																		
		社会人学生数	人	0																		
		留学生数	人	1																		
	入学者合計	入学定員(A)	人	40	50	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	42	65	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	42	65	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	0	1	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	1	6	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.05	1.30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	収容定員等	収容定員(C)	人	80	90																	
		在籍者数(D)	人	88	108																	
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.10	1.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	46																		
		就職者数	人	41																		
		進学者数	人	4																		
		その他	人	1																		
		進路不明	人	0																		
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	23	29																	
		授業科目の単位数	単位	15	27																	

大学名	お茶の水女子大学	改組内容	研究科等の設置･増員（一般枠）

２.情報系組織の状況

２－３.学士課程

大区分	小区分	項目	単位	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度	R25年度
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	82	82																	
		入学者数	人	85	91																	
		女子学生数	人	85	91																	
		社会人学生数	人	0	0																	
		留学生数	人	0	1																	
	その他の学期	入学定員	人	0																		
		入学者数	人	0																		
		女子学生数	人	0																		
		社会人学生数	人	0																		
		留学生数	人	0																		
	入学者合計	入学定員(A)	人	82	82	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	85	91	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	85	91	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	0	1	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.04	1.11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	収容定員等	収容定員(C)	人	248	293																	
		編入学定員	人	2	5																	
		在籍者数(D)	人	262	317																	
		編入学者数	人	4	6																	
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.06	1.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	38																		
		就職者数	人	6																		
		進学者数	人	32																		
		その他	人	0																		
		進路不明	人	0																		
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	43	53																	
		授業科目の単位数	単位	54	66																	

大学名	お茶の水女子大学	改組内容	研究科等の設置・増員（一般枠）

３.大学全体の状況

３－１.博士課程

大区分	小区分	項目	単位	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度	R25年度
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	73	73																	
		入学者数	人	45	46																	
	その他の学期	入学定員	人	0																		
		入学者数	人	6																		
	入学者合計	入学定員（A）	人	73	73	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数（B）	人	51	46	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	0.70	0.63	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	収容定員等	収容定員（C）	人	219	219																	
		在籍者数（D）	人	277	279																	
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.26	1.27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

３.大学全体の状況

３－２.修士課程

大区分	小区分	項目	単位	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度	R25年度
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	222	222																	
		入学者数	人	251	246																	
	その他の学期	入学定員	人	0																		
		入学者数	人	1																		
	入学者合計	入学定員（A）	人	222	222	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数（B）	人	252	246	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.14	1.11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	収容定員等	収容定員（C）	人	444	444																	
		在籍者数（D）	人	545	522																	
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.23	1.18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

大学名	お茶の水女子大学	改組内容	研究科等の設置・増員（一般枠）

３.大学全体の状況

３－３.学士課程

大区分	小区分	項目	単位	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度	R25年度
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	452	452																	
		入学者数	人	483	491																	
	その他の学期	入学定員	人	0																		
		入学者数	人	0																		
	入学者合計	入学定員（A）	人	452	452	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数（B）	人	483	491	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.07	1.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	収容定員等	収容定員（C）	人	1,868	1,868																	
		編入学定員	人	30	30																	
		在籍者数（D）	人	2,079	2,091																	
		編入学者数	人	60	49																	
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.11	1.12																	

４.外部資金の状況（全学）

項目	単位	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度	R25年度
外部資金獲得額	千円	1,451																		

特記事項

表２－１、２－２、２－３、３－１，３－２、３－３の、「その他の学期」の入学定員０人とは、若干名を意味している。